

米国外交政策極秘文書シリーズ Web版

Digital National Security Archive

ラテンアメリカ地域関連コレクション

Cuba / El Salvador / Mexico / Guatemala / Nicaragua / Argentina / Brazil / Chile / Peru

ラテンアメリカ地域の内戦・発展への米国の関与が明らかに

Digital National Security Archive (DNSA) は、アメリカ連邦政府各機関の重要文書・機密解除文書を収録するデータベースです。

The National Security Archive (NSA)※とProQuestの協力の下、NSAの所蔵文献の中から情報公開法を積極的に活用し、近年機密解除された文書を多数収録しています。収録資料は、NSAが選抜した専門委員団が一定の基準に基づいて特に重要な文献を選定し、書誌索引情報を付与、学術調査への便宜をはかっています。

DNSAは、収録文書を主題別に分類した「コレクション」毎に提供しており、本カタログでは、中南米に関するコレクションをご紹介します。

中米 / Central America

キューバ・ミサイル危機・1: 1962年 / The Cuban Missile Crisis, 1962

17,000頁を超える軍事・諜報レポート、通信文、機密書簡、会議録、内部メモなどを収録、核戦争を回避すべく、熟考の末に実行された政策関連の文書を提供します。資料の大半が、キューバに設置されたソビエトの弾道ミサイル発見から撤去までの緊張の13日間に集中しています。危機回避後のミサイル撤去の検証、アメリカのキューバ不可侵保障、キューバ駐在ソ連軍に関する外交文書も併せて収録します。国務省、ホホワイトハウス、国家安全保障委員会の資料を中心に、在キューバアメリカ大使館や在外公館、米陸・海・空軍、議会、国際連合関連の資料も提供します。

キューバ・ミサイル危機・2: ピッグズ湾事件から核戦争の瀬戸際まで / Cuban Missile Crisis Revisited, The: An International Collection of Documents, From the Bay of Pigs to the Brink of Nuclear Brink

ミサイル危機から35年・40年を機に行われた記念会議で公開された記録を中心に、カストロ政権が力を持ち始めた1959年から、ソ連の潜水艦の運行により米ソ間の緊張が高まった1970年代までの約1,400点の資料を収録します。ミサイル危機から年を経て国際的な記念会議が行われる度に、冷戦の歴史やミサイル危機に対する学術的な関心が高まり、数多くの文書が機密解除されました。重要な出来事に対する週単位での記録や、冷戦終結後に公開されたロシア・キューバ両政府の所蔵文献を収録し、冷戦・ミサイル危機に関するより詳細な経緯をご覧いただけます。

キューバとアメリカ: 国交正常化までの交渉の歴史、1959-2016年 / Cuba, and the U.S.: The Declassified History of Negotiations to Normalize Relations, 1959-2016

キューバ革命から2016年のアメリカとの国交回復までの半世紀以上に及び、約1,700点の機密解除文書を収録します。その多くがこれまで知られていなかったもので、アメリカ・キューバ間の非公式会談の記録文書も含まれます。ケネディ、フォード、カーター米大統領らがキューバとの国交正常化を試みたことを詳述する資料等、両国の外交関係について、新たな視点を提供します。


 NATIONAL
SECURITY
ARCHIVE

※The National Security Archive (NSA、アメリカ国家安全保障アーカイブ) は、重要な国家政策の形成・施行過程に関する政府機関の文書を収集・公開することを目的としたアメリカの非営利団体です。1985年の設立以来、ときには訴訟も起こして体系的に機密解除文書の公開請求を行っています。これまで200以上の政府機関に対して5万件にも及ぶ公開請求を行い、1,000万ページ以上の文書の開示に成功しており、アメリカ政府自体を除くと、現代アメリカの国家安全保障に関する一次資料を最も多く所蔵していると言われています。

中米 / Central America

アメリカの対メキシコ麻薬政策: 1969-2013年 / Mexico-United States Counternarcotics Policy, 1969-2013

世界最大の違法薬物の消費国家アメリカと、その薬物の大部分を供給するメキシコの関係を多方面から追跡します。長い国境線で接するアメリカとメキシコは経済、社会、安全保障の点から深く関わってきました。本コレクションでは、メキシコの麻薬政策に対するアメリカの対応に焦点をあて、アメリカ政府がメキシコに麻薬対策のための資金援助を申し出たメリダ・イニシアティブ、除草剤の散布による大麻栽培根絶、それらの薬物規制が貿易協定に与えた影響などに関する文書を収録しています。ニクソン大統領からオバマ大統領在任の約40年間における約1,800点の文書を通じて、麻薬問題をめぐる両国の複雑な関係が明らかになります。

アメリカとエルサルバドル・1: 1977-1984年 / El Salvador: The Making of U.S. Policy, 1977-1984

エルサルバドルにおけるアメリカの諜報活動と政策決定の経緯を記録した主要文書約5,000点・27,000頁以上を収録します。カーター政権期の1977年からレーガン政権期の1984年までをカバーし、報告書・通信文・書簡・声明など、国務省・国防総省・財務省・司法省・国家安全保障委員会(NSC)・CIA他の文書を通じて、アメリカ政府のエルサルバドルに対する政治的・経済的・軍事的関与とそのプロセスへの理解を促します。重要人物の経歴や背景、アメリカ外交政策の変化と継続性、アメリカにおける情報公開の過程など、様々な観点からご利用いただけます。

アメリカとエルサルバドル・2: 内戦・和平と人権、1980-1994年 / El Salvador: War, Peace and Human Rights, 1980-1994

12年間にわたるエルサルバドル内戦の過程と、対米関係・人権問題・和平過程を記録します。アメリカ国務省・国防総省・国家安全保障委員会(NSC)・CIAなどの文書、約1,300点・6,600頁以上を収録、その大半が1993年から1994年にかけて機密解除されたものです。和平と停戦を仲介した国際連合の資料も含み、冷戦末期におけるアメリカの対中南米政策、エルサルバドル政府軍支援の背景、エルサルバドル国内での人権問題や政治的・経済的状況などの情報を多数収録します。

グアテマラ: アメリカの軍事政権支援と内戦、虐殺、1954-1999年 / Death Squads, Guerrilla War, Covert Operations & Genocide: Guatemala and the United States

1954年のCIAの支援によるグアテマラ軍事独裁政権樹立から、1996年の和平協定調印、1999年に国際連合 歴史究明委員会(CEH)がグアテマラ国家が国民を虐殺したことを結論づけるに至るまでの、およそ40年間にわたる生々しい暴力とジェノサイドの歴史を伝えます。2,000点を超える初公開の文書の最大の目玉は、1999年にグアテマラ軍から持ち出された暗殺部隊の日誌です。その他、歴史究明委員会による1999年の報告書や、国務省、国防総省、CIA、ホワイトハウス等の未公開資料も含まれます。

ニカラグアとアメリカ: 1978-1990年 / Nicaragua: The Making of U.S. Policy, 1978-1990

1979年、「新しい社会主義」を唱えるサンディニスタ民族解放戦線(FSLN)がソモサー族の長期独裁政権を打倒すると、アメリカ政府は社会主義を抑え込むために封じ込め政策を実施し、旧ソモサ派の反政府ゲリラ「コントラ(反革命派)」を軍事支援し、ニカラグアは内戦状態に陥りました。本コレクションは、主にこの時の米国務省と在ニカラグア大使館の通信文書で構成され、約3,500点・13,000頁以上の文書を収録します。コントラへのレーガン政権の違法支援の発覚や、コントラ支援を議会・国民に支持させるためにアメリカ政府が実施したキャンペーン他、革命勃発から1990年総選挙での革命政権の敗退までの、アメリカの対ニカラグア政策の実態を明らかにします。

南米 / South America

アルゼンチンとアメリカ: 人権問題、1975-1980年 / Argentina, 1975-1980: The Making of U.S. Human Rights Policy

1970年代後半にアルゼンチンの独裁政権下で起きた人権問題へのアメリカの対応を記録します。クーデターで軍部が政権を獲得すると、市民に対する大規模な不当勾留、拷問や誘拐、殺害が横行しました。本コレクションは、カーター政権からレーガン政権までを対象とし、アメリカが、「汚い戦争」で軍事政権が子どもを略取した問題への解決をアルゼンチンに対して求めた経緯などをとりあげます。共産主義の普及や核拡散など南米地域で頻りに論じられてきた問題や、アルゼンチンで発生した何万人もの行方不明者への対応等、アメリカが人権問題を重視しての外交政策を行ってきたことがうかがえます。本コレクションの約2,400点の収録資料に含まれる人権侵害の証拠は、2012年の旧軍事政権の幹部らに対する裁判でも資料として提出されました。政治暴力との闘い、アメリカの対南米政策、国際舞台における基本的人権の保障など、今日的な問題を取り上げた重要な資料を含みます。

チリとアメリカ: 民主主義・独裁政治・人権、1970-1990年 / Chile and the United States: U.S. Policy toward Democracy, Dictatorship, and Human Rights, 1970-1990

1970年以降のアメリカとチリの関係・外交政策に焦点を当てています。米ニクソン政権がチリのアジェンダ大統領の社会主義政権への干渉を決めた1970年から、アジェンダ政権へのクーデターと軍事政権の樹立を経て、軍事政権が不信任投票で解散する1990年までを対象とします。政権交代を目論んだ秘密作戦や、ピノチェト・ウガルテ陸軍司令官による政府樹立への支援などを記録した文書約23,000点を収録し、国際テロ、チリの民主政治への歴史的、平和的回帰、軍事政権を率いたピノチェトへの対応等、政治暴力と人権問題に対するアメリカの政策への理解を促します。

コロンビアとアメリカ: 政治暴力・麻薬・人権、1948-2010年 / Colombia and the United States: Political Violence, Narcotics, and Human Rights, 1948-2010

コロンビアにおける政治汚職や社会不安、人権侵害に対し、約60年間にわたってアメリカ政府が干渉した経緯を記す、国務省、国防総省、CIA他の文書約2,300点を収録します。麻薬戦争や政治腐敗に対するアメリカの政治・軍事政策と援助を詳述し、コロンビアの官僚が麻薬貿易や違法の暗殺チームと癒着していたことや、アルバロ・ウリベ大統領政権下における準軍組織の非武装化交渉、軍によるジャーナリストの盗聴など、多様なトピックを収録します。国際関係学、平和研究、麻薬政策、安全保障政策など、様々な研究にご利用いただけます。

ペルーとアメリカ: 人権、薬物と民主主義、1980-2000年 / Peru: Human Rights, Drugs and Democracy, 1980-2000

ペルーの国内政策および、ラテンアメリカに対するアメリカ政府の干渉の経緯に着目したコレクションです。センデロ・ルミノソのゲリラ活動やトゥパク・アマル革命などの内戦、それらに起因する人権侵害の経緯を辿ることができます。リマのアメリカ大使館、米軍当局者、アメリカ諜報関係者が証言した、ペルーの内戦、警官や軍関係者による市民の弾圧など、ペルー政府の独裁主義が伸長していく過程を約2,000点の文書を通じて辿ります。ペルーの真実和解委員会が重大視していた、政権中枢による権力乱用や、反乱軍・政府軍双方による人権侵害などの出来事を中心とした資料を提供します。

コレクション詳細Webページのご案内

各コレクションの詳細情報は、紀伊國屋書店ホームページの「教育と研究の未来」にてご紹介しています。

右のQRコードから、<https://mirai.kinokuniya.co.jp/catalog/dnsa/>へアクセスください。



その他のコレクションのご案内

日本とアメリカ・1: 外交、安全保障と経済、1960-1976年 / Japan and the United States: Diplomatic, Security, and Economic Relations, 1960-1976

国務省、国防総省、通商代表部、CIAなどの連邦政府機関が所蔵していた、アメリカの対日政策に関する公文書約1,400点・7,000頁以上を提供します。発行年を基に整理・編集され、詳細なクロス・インデックスが完備されてリリースされました。編集には入江昭ハーバード大学教授はじめ日米両国の第一線の研究者が協力しており、アメリカの対アジア政策の歴史を再検証する上で欠かせない貴重なコレクションです。

日本とアメリカ・2: 外交、安全保障と経済、1977-1992年 / Japan and the United States: Diplomatic, Security, and Economic Relations, 1977-1992

アメリカ国務省、国防総省、商務省、財務省、駐日アメリカ大使館、カーター&レーガン両大統領図書館など、複数の機関に散在していた日本に関連する文書を集約したコレクションです。Part1の収録年代に続き、1977年から1992年に発行された約1,700点の文書をご覧ください。カーター、レーガン、ブッシュ各大統領と歴代日本首相とのサミット関連資料、日本の貿易障壁について記されたアメリカ通商代表部(USTR)の覚書、湾岸戦争での日本の貢献に関するアマコスト前駐日大使からの外電など、当時の主要な外交・経済・安全保障問題に新たな視点を提供します。

中国とアメリカ: 敵対から関与へ、1960-1998年 / China and the United States: From Hostility to Engagement, 1960-1998

アメリカの対中国・台湾政策に関する、米国防総省、国務省、国家安全保障委員会など、数々の連邦政府機関から集約された約2,000点・15,000頁の資料を収録します。通信文、協定、報告書、内部メモを収録し、米国連邦政府機関が中国の経済や軍事力について調査をした文書や、在中国アメリカ大使館による中国軍の状況報告、軍備管理、人権問題に関する中国の白書も提供します。中国研究や、米中関係、人権問題など、さまざまな研究にご利用いただけるコレクションです。

アメリカと南北朝鮮・1: 1969-2000年 / United States and the Two Koreas (1969-2000), The

本コレクションは、国立公文書館や大統領図書館で調査編纂された歴史的資料に加え、国務省、国防総省、CIAその他の政府機関が公開した約1,800点の文書を収録します。1969年に日本海上でアメリカの偵察機が北朝鮮に撃墜された事件から、1990年代の米クリントン政権による核抑止努力の記録までを収録し、アメリカ-韓国間における外交・安全保障・経済関係と、アメリカの北朝鮮への対応に焦点を当てています。アメリカ海軍EC-121機撃墜の報復として計画された北朝鮮への軍事攻撃の詳細、北朝鮮の経済悪化、金日成から金正日への政権交代、韓国における政治的な自由化(光州事件から金大中大統領当選まで)、2000年南北首脳会談、北朝鮮の地域安全保障への脅威に対する国際外交に焦点をあてた日本、中国、ロシア他との秘密会談の様子を記した文書をご覧ください。

国家安全保障に関する大統領指令・1: トルーマンからクリントンまで / Presidential Directives on National Security, Part I: From Truman to Clinton

トルーマン政権時代からクリントン政権時代における、国家安全保障会議、安全保障政策の覚書・大統領指令などの機密解除文書を約2,100点・30,000頁を収録します。核大統領の政策判断の差異、米ソ関係、アメリカの対アジア政策、核不拡散など、幅広い研究にご利用いただけます。

契約形態: コレクション毎の恒久アクセスライセンス
(年毎に維持料金あり) または 全コレクション年間購読
IPアドレス認証方式・同時アクセス無制限

個別にお見積り致します。お気軽にお問い合わせください。
国内販売総代理店: 株式会社紀伊國屋書店
デジタル情報営業部 Email: pqhelp@kinokuniya.co.jp